

# NEWSLETTER



大阪女学院大学 大阪女学院短期大学

教 員 養 成 セ ン タ ー

- 巻頭エッセイ 「意味ってどういう意味？」..... 1
- 教育時事 中高生の英語学習に関する実態調査 2014..... 1
- 「英語の教え方教室」勉強会報告..... 2
  - ・ 第 31 回勉強会、第 32 回勉強会..... 2

- ・ 第 33 回勉強会・第 34 回勉強会..... 3
- 授業の玉手箱 「課題研究の手法」..... 4
- 書籍紹介 『外国語教育研究ハンドブック』..... 4
- 平成 26 年度教員免許状更新講習 3 案内..... 4

## 巻頭エッセイ

### 意味ってどういう意味？

- 短大「英語学」授業のひとコマ -

夫 明美

筆者が担当している短大の「英語学」で意味論について学んだときのエピソードを紹介します。私たちは語を「知っている」という時、「発音」や「つづり」よりも「意味」について知っていると考えることが多いと思います。では、その「意味」とはどういう意味なのでしょう？ 筆者が女学院に着任して5年余りが経過しましたが、着任直後、学内で多くの「目新しい単語」に出会い、理解できずに戸惑いました。代表的なものを以下に紹介します。

「つけま」「けんちょ(う)」

これらは着任以前の筆者の「脳内辞書」には存在しなかったアイテムで、それぞれ、「つけまつげ」と「研究調査法」(授業科目名)を指します。

「GP」

こちらは「音声」と「表記」については文科省の政策である「Good Practice」という意味で知っていた、または脳内辞書に蓄えられていたアイテムですが、指す「内容・対象」が新たに加わったものです。Graduation Project で卒業論文を指します。

次に、定型表現を用いて「記号的な意味」にとどまらない「意味」について考えます。社会文化的な習慣についての背景知識が意味の理解を手助けするものです。例えば、2014 年度の授業では「盆と正月が一緒にやってきた」を英訳することを試みました。受講生が工夫を凝らした作品を授業に持ち寄った中から、数例を紹介します。

Nice things and pleasant things come together.

この中には指示対象としての「お盆」や「お正月」が言語としては表れていません。しかし、「人が多く集う(多くの場合は)嬉しい時期」であるという内包的な意味を英語で表現しています。

異なった側面を言語化した例もあります。

Both Halloween and Christmas are here.

It is something like a birthday party and Christmas come at the same together.

上記の 2 例はお盆を「ハロウィン」または「誕生日パーティ」、お正月を「クリスマス」と指示対象を変更して言語化しています。おそらく、お盆やお正月に関する背景知識を共有していない英語話者に対して、彼らのもつ背景知識を有効に利用しつつ「多くの人が集まって嬉しくまた忙しい」という内包的な意味を抽出しようとしています。

受講生は短大 2 年生ですので、多くは 3 月の卒業後に新たな場で社会人または大学生としての生活をスタートさせます。その際に新たな「語彙」を得たり、すでにある語彙に「新たな意味」を加えていくことでしょう。その発見結果を授業に報告してくれることが今から楽しみです。

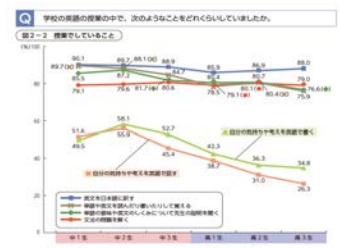
## 教育時事

中井 弘一

### 「中高生の英語学習に関する実態調査 2014」

[http://berd.benesse.jp/up\\_images/research/Teenagers\\_English\\_Learning\\_Survey-2014\\_ALL.pdf](http://berd.benesse.jp/up_images/research/Teenagers_English_Learning_Survey-2014_ALL.pdf) より

ベネッセが、2013 年 3 月に行った全国の中高生を対象にした英語学習の実態と意識に関する調査の結果を発表した。9 割の中高生が社会での英語の必要性を感じている一方、半数近い生徒は自分が将来に英語を使うことはないと予想している。



#### 中学生の予習・復習 TOP3

##### 【予習】

- 第1位 単語の意味を調べる (55.5%)
- 第2位 教科書本文をノートに写す (47.0%)
- 第3位 教科書本文を和訳する (34.3%)

##### 【復習】

- 第1位 問題を解く (66.5%)
- 第2位 単語練習 (65.4%)
- 第3位 教科書本文やキーセンテンスを覚える (39.9%)

#### 高校生の予習・復習 TOP3

##### 【予習】

- 第1位 単語の意味を調べる (62.1%)
- 第2位 教科書本文を和訳する (44.1%)
- 第3位 教科書本文をノートに写す (32.7%)

##### 【復習】

- 第1位 単語練習 (48.4%)
- 第2位 問題を解く (47.0%)
- 第3位 教科書本文やキーセンテンスを覚える (41.3%)

と単語学習や本文和訳が未だに学習主体となっていることがわかる。



## 第 35 回「英語の教え方教室」勉強会 (案内)

平成 27 年 1 月 31 日 (土) 14:00 ~ 17:00

### ■ 「中学校と高等学校の英語授業を通して見てきたこと」

滋賀県立守山中学校 戸田 行彦 教諭

滋賀県立石山高等学校の戸田行彦先生が、今年度、県立守山中学校へ異動された。校種が異なると交わりは少なく、お互いがどのような指導理念で授業を実践しているのか知らない。生徒にとっては継続的な英語学習であるべきなのに、ぶつ切れの状況である。今回は、中学校では何を一番大切に英語教育を行おうとしているのか、どのような指導を拠り所としているのか、高等学校の英語教育とはどう異なるのかななどを、戸田先生に実際例を提示してもらいながらお話いただく。

